

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	はり実技6	
科目基礎情報							
開設学科	鍼灸科	コース名				開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修			時間数	45時間
単位数	1単位	授業形態	実習				
教科書/教材	教科書は臨床医学各論、教材や資料は時間中に配布する。						
担当教員情報							
担当教員	濱田 淳 / 森田 義之			実務経験の有無・職種		有・鍼灸師	
学習目的							
主要症候の病態を部位別に現代医学的な観点から学び、臨床において鍼施術をどのように行うかを学ぶ。疾病の原因、局所解剖、徒手検査法などを学習し、鍼灸の適応・不適応の鑑別力、病態判断の精度を高め、治療の基本となる要穴や常用穴に対して解剖学的見地に基づき、確実な取穴と安全な刺鍼が行えるようになることがねらいである。また、実習を通じて、医療従事者としてふさわしい身なり、態度、言葉遣いを理解、実践し、身に付けることもねらいである。							
到達目標							
この科目では泌尿生殖系の主要疾患、症候に対して、効果的な鍼施術を安全かつ確実に行う能力を身につけることを目的とし、各疾患・症候の原因と局所解剖を理解すること、鑑別力と病態把握の精度を上げること、治療に必要な部位への的確な刺鍼が行えるようになることが目標である。また、疾患を持つ相手への施術を想定するため、医療従事者としての相手への気遣い、目配り、態度、姿勢を身につけることを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	筑波大学における長年の研鑽によって育まれてきた「筑波大学式鍼治療理論」を元に、現代医学的「鍼」を教授する。対象科目は泌尿器とする。他の研究機関では症例も少ない分野であるが、筑波大学ではこの分野における多くの成果を持つ。筑長鍼なども使用し、骨盤部位の深部にも安全に刺鍼できるよう高い技術を身に付ける。						
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。試験は前期での疾患論について行う。実技では、受講態度によって評価することを原則とする。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	実技試験で評価				
	小テスト						
	レポート						
	成果発表 （口頭・実技）						
平常点							
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1	恥骨上部への刺鍼の基礎練習		長鍼を安全に扱うことができる				
2	恥骨上部への刺鍼の基礎練習		長鍼を安全に扱うことができる				
3	恥骨上部に対する刺鍼の技術解説		恥骨上部に対する鍼治療を安全にできる				
4	恥骨上部に対する刺鍼実習		恥骨上部に対する鍼治療を安全にできる				
5	内閉鎖筋に対する鍼通電法の技術解説		内閉鎖筋に対する鍼治療を安全にできる				
6	内閉鎖筋に対する鍼通電法の実習		内閉鎖筋に対する鍼治療を安全にできる				
7	内閉鎖筋に対する鍼通電法の実習		内閉鎖筋に対する鍼治療を安全にできる				
8	円回内筋、尺側手根屈筋		前腕部に対する治療を安全委できる				
9	斜角筋、胸鎖乳突筋		頸部に対する治療を安全にできる				
10	咀嚼筋		咀嚼院に対する治療を安全にできる				
11	足背筋		側背の筋に対する治療を安全にできる				
12	胸金		胸部の筋に対する治療を安全にできる				
13	腰部、肩背部、頸部		腰背部の筋に対する治療を安全にできる				
14	腰部		殿部の筋に対する治療を安全にできる				
15	前鋸筋、広背筋		背部の筋に対する治療を安全にできる				

授業計画（16回～23回）		
16	大腿四頭筋、大体二頭筋	大腿の筋群に対する治療を安全にできる
17	長内転筋,大内転筋、恥骨筋	内転筋群に対する治療を安全にできる
18	錐体筋	腹筋に対する治療を安全にできる
19	手の筋	手の中の筋に対する治療を安全にできる
20	前腕部の筋	前腕部に対する治療を安全にできる
21	総合練習	症状を問診して治療方針を決める
22	総合練習	症状を問診して治療方針を決める
23	総合練習	症状を問診して治療方針を決める